

令和5年度 校内研修計画

1 研究主題

自ら考え、学び、共に高め合う、コミュニケーション力をもつ子の育成
～言語活動の充実を図る授業づくりを通して～

2 主題設定の理由

【小中一貫として】

昨年度より「小中一貫教育に係る確かな学力推進研究事業」を岩国市教育委員会から指定を受け、研究主題を「自ら考え、学び、共に高め合う、コミュニケーション力をもつ子の育成」とし、研究を重ねてきた。岩国中学校区の各小学校と中学校の児童生徒の現状を情報交換する中で見えた課題の解決を目指すにあたって、「コミュニケーション力」という一つのキーワードが浮かび上がった。そこで、小中一貫教育として9年間のつながりを目指した学校・地域連携カリキュラムを作成し、つけたい力を「コミュニケーション力」と示した。さらに「地域教育部会」「心と行動部会」「学力向上部会」の3部会の各カリキュラムの中にも「コミュニケーション力」を示すことで、意識した取組が実践できるようにしてきた。学力向上部会では、「コミュニケーション力」の共通理解として、「自分の考えと比較しながら友達の考えを聞くとともに、自分の考えを文章や言葉で相手に分かりやすく伝えること」とした。

本年度は2年次として、各教科等のねらいを達成するとともに、小中9年間のつながりが見える児童生徒のコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業づくりを目指していく。

【本校の課題から】

本校校区は岩国市の中心に位置し、吉川藩の城下町として発展してきた町である。校区には錦帯橋をはじめとする文化財や多くの歴史的建造物が存在している。児童は、地域性を生かした伝統・文化教育により、自分の住む町のすばらしさを学び、学習したことを家族や地域の人々に伝えたいという思いをもち、様々なことに興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。しかし、全国学力・学習状況調査や学習支援プログラム確認問題の結果からは、問われている条件を満たして回答することや記述式の問題において部分的に説明が足りないという課題が見られている。

そこで昨年度に引き続き、副題を「言語活動の充実を図る授業づくりを通して」として、各教科の授業の中で、自分の考えを表現したり、互いの考えを深め合ったりする言語活動を仕組むことで、見られた課題の解決を目指していく。

3 研究の仮説

各教科の授業の中で、児童が自ら考え表現し、互いの考えを検討し深め合うような言語活動を仕組むことで、相手の意図を理解し、自分の考えを的確に伝えるコミュニケーション力を高めることができるようになるのではないかと仮説を立てる。

4 研究の視点

視点1 主体的な学習につながる課題設定の在り方

児童が目の前の課題を自分の課題としてとらえ、自分の考えを表現したくなるようにするために、めあての提示の仕方を工夫したり、課題解決のためにこれまで身につけた知識・技能や考え方の中の何が使えるのか見通しをもたせたりするようにする。

視点2 互いの考えを深め合うための言語活動の在り方

児童が課題解決のために表現したくなるような活動や場を設定し、その中で数学的な見方・考え方が働く言語活動となるように手立てを工夫する。

視点3 自分の学んだ内容や学び方を確認し、次時に生かす振り返りの在り方

児童が授業でわかったことやできるようになったことの確認や意味づけができるように、振り返りの交流や共有の仕方を工夫する。教師は、授業で身につけさせたいことが身についたかの確認を評価して指導に生かせるように、コミュニケーション力の指標を活用する。

5 研究の内容

(1) 授業づくり

- ・「岩国市：ICTを活用した『新しい学習様式』」による授業改善
- ・自分の考えを表現し、互いの考えを検討し深め合うような言語活動の工夫
- ・数学的な見方・考え方が働くような言語活動の工夫
- ・「コミュニケーション力の指標」による振り返りの工夫

(2) 研究授業

- ・教師相互評価による授業改善
- ・隣接学年での教材研究及び授業研究
- ・ブロック(低学年ブロック・中学年ブロック・高学年ブロック)ごとの指導案検討
- ・公開授業(低学年・中学年・高学年)
- ・岩国中学校区の各校の校内研修への参加

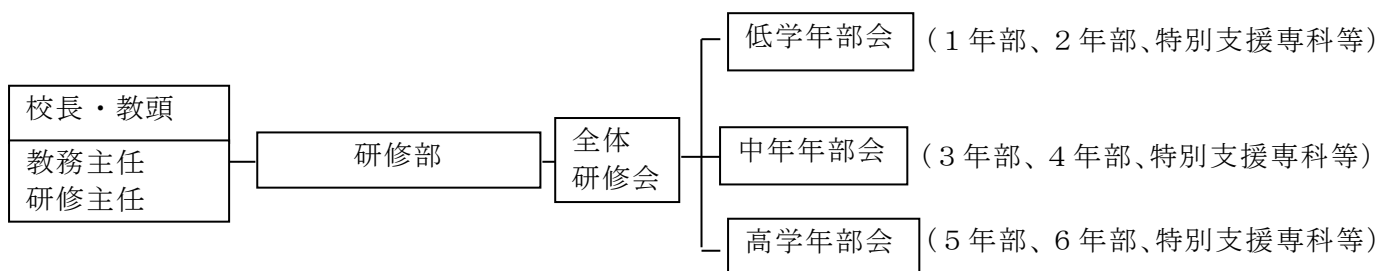
(3) 児童の学力向上のための日常的な取組

- ・学習10か条の徹底
- ・研究の視点に沿った授業づくり
- ・家庭学習の手引きの配布と家庭学習強化週間の実施
- ・やまぐち学習支援プログラムやタブレット(ドリルパーク)の活用

(4) 地域・家庭と一体となった取組

- ・いこいの日(毎月15日のノーメディアデーに、親子読書を推進)
- ・学校運営協議会委員の校内研修への参加
- ・生活科・総合的な学習の時間での地域学習の充実

6 研修組織



令和5年度 研修の予定

期日	研 修 予 定
4月26日(水)①	○今年度の研修主題・年間研修計画の確認 ○授業者決定
5月24日(水)②	○学年研修(教材研究・指導案検討等)
6月7日(水)③	○ブロック研修(指導案検討)
7月24日(月)④	○ブロック研修(指導案検討)
7月26日(水)⑤	○指導案検討(全体) 10月11日(水)の授業(低学年・中学年・高学年)
8月22日(火)⑥	○指導案検討(全体) 10月11日(水)の授業(低学年・中学年・高学年)
8月24日(木)⑦	○全学調・確認問題の誤答分析 ○外国語研修 ○特別支援教育研修 ○教育課程復伝
9月13日(水)⑧	○研究発表会の準備
10月11日(水)⑨	○岩国市小中一貫教育に係る確かな学力推進研究事業 岩国中学校区二年次発表 (岩国小・中学校公開授業研究会)
2月14日(水)⑩	○今年度の成果と課題の振り返り ○次年度のプログラミング教育年間指導計画の確認